

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：水酸化ナトリウム

製品名：ケミルミ ACS-変性剤(T 3, T 4, VB12 共用)(ケンタウルス-2 PK)

製品コード：03644012

会社名：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

住所：〒141-8673 東京都品川区東五反田 3-20-14

電話番号：03-3537-3939

作成日：2009/03/16

改定番号：1.0

2. 危険有害性の要約

絵表示
又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
呼吸器の障害
水生生物に有害

注意書き

安全対策 適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
使用中に吸入されうる粒子が発生するかもしれない場合は、粉じんを吸入しないこと。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

救急処置 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚又は毛に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合、直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

取り扱い後はよく手を洗うこと。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
施錠して保管すること。

廃棄 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学名：

CAS 登録番号 /EINECS 登録番号	化学名 化学式	量	EU 分類 (67/548/EEC):
1310-73-2 / 215-185-5	水酸化ナトリウム NaOH	1.6%	C, R35

EU 分類の追加情報はセクション 16 を参照

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の補足的な成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。

ヒト：眼または皮膚との接触は刺激を引き起こすことがある。

環境：関連情報なし

EU 分類 (1999/45/EC) : Xi - 刺激性

EU のリスクフレーズおよび安全フレーズ : R36/38, S2, S26, S36/37

4. 応急措置

緊急応急処置：直ちに医師に電話する。最も近い ER (救急救命室)への移送を手配する。

医師を待つ間、または ER へ移送中：

吸入した場合：暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。被災者を暖かく安静にしておく。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救

助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚に付着した場合：多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも15分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

目に入った場合：すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも15分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。

飲み込んだ場合：水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。被災者を暖かく安静にしておく。物質を飲み込んだ場合、被害者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被害者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならず、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

健康への影響と症状の詳細については、**セクション11**を参照。

5. 火災時の措置

消火媒体

適切：粉末化学消火剤、炭酸ガス、ウォータースプレー、泡消化剤を使用する。

不適切：認知済みのものは無し。

化学物質に起因する特定の危険有害性：火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解性生物：分解生成物には以下の物質が含まれることがある：金属酸化物

消火を行う者に対する注意事項：火災が発生したら、速やかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消防士用の特殊保護具：消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具（SCBA）を装着しなければならない。

異常な火災および爆発危険：関連情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気やミストを呼吸しない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。

環境に対する注意事項：

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込めおよび洗浄に関する方法及び材料

少量流出：

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水で希釈してから拭き取るか、もしくは乾燥した不活性物質で吸い取り、適切な廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

回収、中和：

流出物を水で希釈する。希酢酸で中和する。吸収剤により集め適切な容器に入れる。湿ったペーパータオルで拭き廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。当物質の通常の取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。酸類に近づけないこと。容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。容器を再利用してはならない。

保管：現地法に従い製品ラベル（添付文書）に記載の温度および条件で保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を防ぎ、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保存する。酸類に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

化学名	暴露限界値
水酸化ナトリウム	2 mg/m ³ PEL-TWA 2 mg/m ³ TLV-天井値

推奨されるモニター措置：当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。

適切な技術的管理：ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

環境暴露管理：換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げするために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

個人の保護措置

衛生措置：化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

呼吸器の保護具：不要。部屋全体の換気を行う。

手の保護具：標準実験用ラテックスまたはゴム手袋

目の保護具：実験室化学用ゴーグルを推奨する。実験室ではコンタクトレンズを使用しないほうがよい。

皮膚の保護：実験着または前掛けを推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

外観：透明、無色の水溶液

臭い：無臭

pH：13

融点・凝固点：N/A

沸点、初留点及び沸騰範囲：N/D

引火点：なし

蒸気圧：N/D

比重：N/D

溶解度：可溶

蒸発速度：N/D

燃焼範囲：LEL:適用外 UEL:適用外

N/A = 適用なし N/D = 測定されていない

10. 安定性及び反応性

安全性：安定

危険有害反応可能性：通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件：過度の熱を避ける。

混触危険物質：強酸および金属を避ける。

危険有害な分解生成物：通常の貯蔵および使用条件下で、危険な分解生成物はなし。

11. 有害性情報

露出過度による慢性的毒性：希水酸化ナトリウム溶液との接触を繰り返すと皮膚炎となることがある。

発がん性：発がん物質またはその疑いがあるとして記載されている成分はない。

暴露による健康状態の悪化：皮膚疾患および健康状態

急性毒性：

急性毒性値—水酸化ナトリウム: LD50 経口 ラット:140-340 mg/kg

皮膚腐食性・刺激性：特に長期にわたる接触で、化学熱傷を伴う重度の刺激が引き起こされることがある。発赤、水ぶくれを引き起こすことがある。

摂取：飲み込んだ場合、口、喉及び胃腸に火傷を引き起こすことがある。胃痛を引き起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：化学熱傷および永久的な障害を伴う重度の刺激を引き起こすことがある。痛み、発赤、流涙を引き起こすことがある。

吸引性呼吸器有害性：ミストの吸入は粘膜および呼吸器官の刺激を引き起こすことがある。

12. 環境影響情報

生態毒性：この混合物の生態への影響は確認されていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国連番号：UN1824

品名：水酸化ナトリウム（水溶液）

危険物分類および包装等級：8, III

ラベル：腐食性

梱包指示（旅客航空機）：IATA 819（5 L）

梱包指示（貨物航空機）：IATA 821（60L）

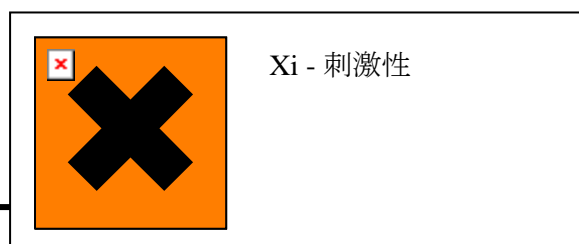
15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	該当せず
労働安全衛生法〔名称等表示〕	名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法〔名称等表示〕	表示：該当せず
毒物及び劇物取締法	該当せず
家庭用品規制法	規制物質
海洋汚染防止法	D類物質等
船舶安全法	腐食性物質
航空法	腐食性物質

SARA 311/312:SARA の危険有害性区分セクション 311/312 報告：急性健康

カナダ WHMIS 分類：医療機器は WHMIS から免除されている。





EU 分類 (1999/45/EC)：



EU のリスクフレーズおよび安全フレーズ：

- R36/38 - 眼および皮膚に刺激性がある。
- S 2 - 子供の手の届かない所に保管する。
- S26 - 眼に接触した場合、直ちに十分な量の水で洗い、医療機関の指示を求める。
- S36/37 - 適切な保護衣と手袋を着用する。

16. その他の情報

HMIS の危険有害等級		
 <U:20581><U:24247>:	2	n4 極めて危険。
 <U:28779><U:28797>:	0	n3 非常に危険。
 <U:21453><U:24540><U:24615>:	0	n2 中等度危険。
 <U:20491><U:20154><U:20445><U:-29833>:	C	n1 軽度危険。
		n0 最低度危険。
		n*アスタリスクは重大かつ慢性的な健康への影響を示す

参考のためのリスクフレーズ (セクション 2 および 3 参照):

- C - 腐食性
- R35 - 重症のやけどを引き起こす。

本化学物質安全性データシートの記述は、改定日時点で Siemens Healthcare Diagnostics の専門家の見解であり、各種文献等から得られた情報に基づいて作成しています。しかしながら必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、本製品の取扱いには充分注意してください。また、ここに含まれる情報は、いかなる保証をなすものではありません。本製品を使用される際には、各施設毎にその用途・用法に適した安全対策を実施してください。